

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。なお、施工後は、施工主様に必ずお渡しください。

■施工される方へお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負う危険および物の損害が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は、床面に直接固定しますので、床強度が不十分な場合、転倒・脱落の原因となります。必ず床強度を確認した後取り付けください。(詳細は下記「**施工前の作業確認**」をお読みください。)
- 棚板・引出し・天板の上ののり、その上で作業をしないでください。脱落などによりケガの原因となります。
- 各パーツ・部材を取り付ける際、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。水平・垂直がでない場合、各パーツ部材間に透き間が生じ、キャビネットの転倒やパーツの脱落の原因とな

- ります。
- 天板・棚板・ハンガーパイプに最大荷重を超えるものをのせないでください。たわみによる脱落のおそれがあります。(詳細は、「**施工前の作業と確認**」■天板・棚板・ハンガーパイプの最大荷重の確認)をご覧ください。)
- ハンガーパイプ・可動棚を誤った寸法で切断すると、ハンガーパイプ・可動棚の脱落の原因となります。(詳細は「**仕様概要**」●ハンガーパイプ、●可動棚をご覧ください。)

■施工上のお願い

- 設置スペースを確認のうえ、施工してください。
- 収納スペース内部をビニールクロスなどで仕上げる場合は、本製品の施工前に行ってください。
- 本製品の表面は、カラー合板を使用しております。汚れた手袋などで触れたり、傷をつけないよう運搬・施工時の取扱いに十分ご注意ください。また、汚れた場合は、柔らかい布に水、又は中性洗剤を含ませて、軽くふきとってください。シンナー等の溶剤は、絶対に使用しないでください。

- プラスドライバーの先はNo.2のものを使用してください。ねじ頭をつぶすおそれがあります。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 本製品の組立て・施工時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂れ下がり・ゆがみ等の原因となります。

■部品部材一覧表

■固定枠セット

呼称	商品コード	備考
W455	NKHZ001	天板・側板・固定棚 各1枚
W790	NKHZ002	天板・側板・固定棚 各1枚
W910	NKHZ003	天板・側板・固定棚 各1枚
W1245	NKHZ004	天板・側板 各1枚

■同梱部品

L金具	棚ジョイント	天板用ノックダウン金具	皿タップピンねじ
2	4	4	14

■側板ユニット

呼称	商品コード	備考
側板ユニット	NKHZ030	側板 1枚

■同梱部品

取付け説明書
1

■フリー天板

フリー天板

■同梱部品

呼称	商品コード	皿木ねじ
フリー天板	NKHZ031	10

■カットフリー枠セット

呼称	商品コード	備考
W455	NKHZ011	天板・側板 各1枚
W790	NKHZ012	天板・側板 各1枚
W910	NKHZ013	天板・側板 各1枚
W1245	NKHZ014	天板・側板 各1枚

■同梱部品

L金具	皿タップピンねじ
8	24

■可動棚

可動棚

呼称	商品コード	
	1枚入り	2枚入り
W455	NKHZ201	NKHZ211
W790	NKHZ202	NKHZ212
W910	NKHZ203	NKHZ213

■同梱部品

棚板	棚ダボ(前)	棚ダボ(後)
1枚	LR各1	2
2枚	LR各2	4

■ハンガーパイプ

ハンガーパイプ

■同梱部品

呼称	商品コード	パイプソケット	皿タップピンねじ
W455	NKHZ101	2	2
W790	NKHZ102		
W910	NKHZ103		

■施工前の作業と確認

■取付けスペースの確認

●取付けスペースの開口・奥行き寸法を確認してください。

■床強度の確認

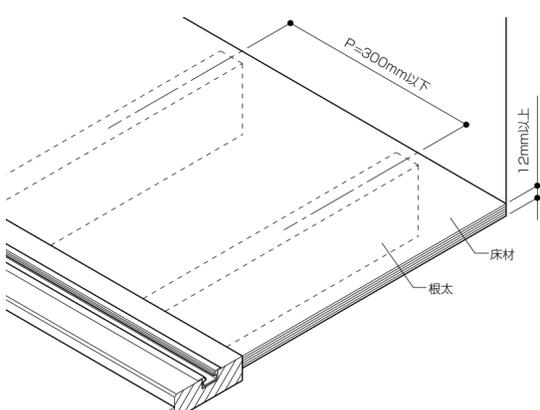
- 床強度は、フローリング又は合板張りで厚さ12mm以上を基準とします。
- 既存の押入れ等の改装で床材が薄い場合は、その上に9mm以上の合板を張ってください。
- 天板に、最大荷重を超える物をのせる事が予想される場合は、根太間隔を狭くするか、15mm以上の床材を張ってください。

■内部仕上げは施工前に

●収納スペース内部を、ビニールクロス等で仕上げる場合は、内部収納の施工前に行ってください。

■天板・棚板・ハンガーパイプ最大荷重の確認

●天板に、最大荷重を超える物をのせる事が予想される場合は、「フリー天板」をご使用ください。



■天板・棚板・ハンガーパイプ最大荷重

呼称	最大荷重
W455	4.5kg
W790	7.5kg
W910	9.0kg
W1245	12.0kg

▲注意
天板・棚板・ハンガーパイプに、最大荷重を超える物をのせると、たわんだり、脱落してケガの原因となります。

■引き渡しまでのご注意

●養生シートの固定等の際、テープ等を直接化粧面に張らないでください。

■引出しの設置について(A図)

- 内部収納は、クローゼット扉のタイプに合わせて、ピボット・開き戸用ユニットまたはフリー用ユニットをお選びください。
- 収納端部に引出しを取り付ける場合は、小壁を設けず柱に直接クローゼットの枠を取り付けてください。(小壁を設けると、引出しが壁に当たります。)

【クローゼット扉が、ピボット・開き戸タイプの場合】

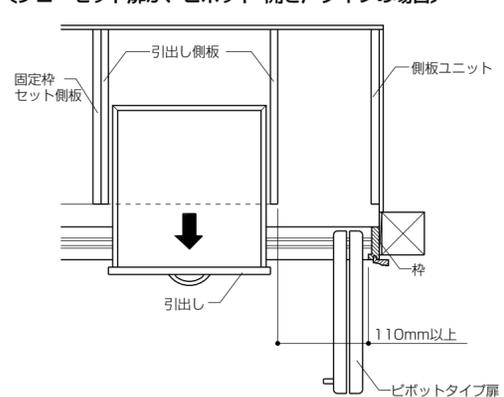
●引出しは、扉側の枠から110mm以上離し、枠セットより1サイズ小さいものを取り付けてください。(例:W790枠セット+W455引出し) 枠セットと同サイズの引出しを取り付けると、引出しがクローゼット扉に当たり、開閉できません。

【クローゼット扉が、フリータイプの場合】

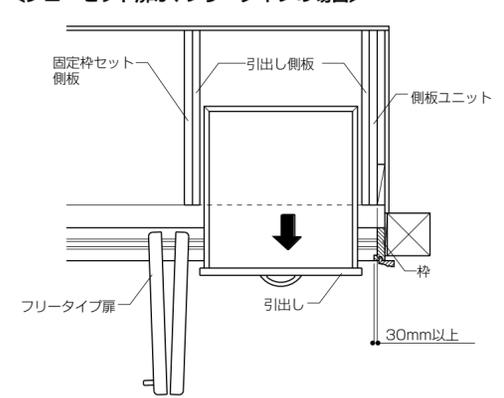
●引出しが枠に当たる場合は、枠と側板の間にかい木を入れ、枠から30mm以上離して引出しを設置してください。

■引出しの設置(A図)

【クローゼット扉が、ピボット・開き戸タイプの場合】



【クローゼット扉が、フリータイプの場合】

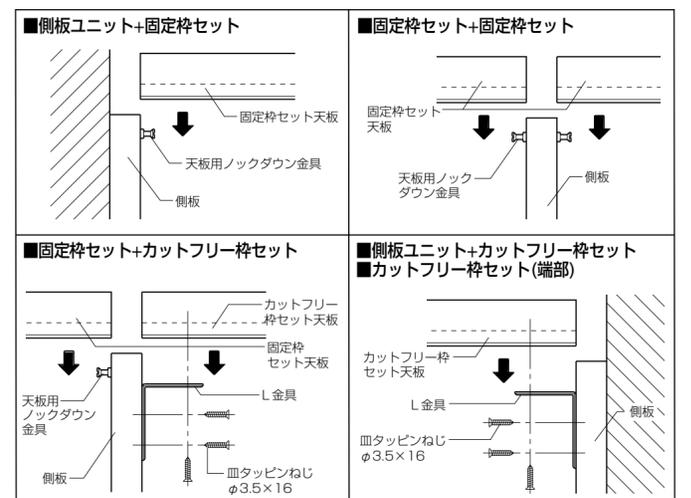


■仕様概要 (側板ユニット+固定枠セット+カットフリー枠セット+可動棚+引出し+ハンガーパイプ)

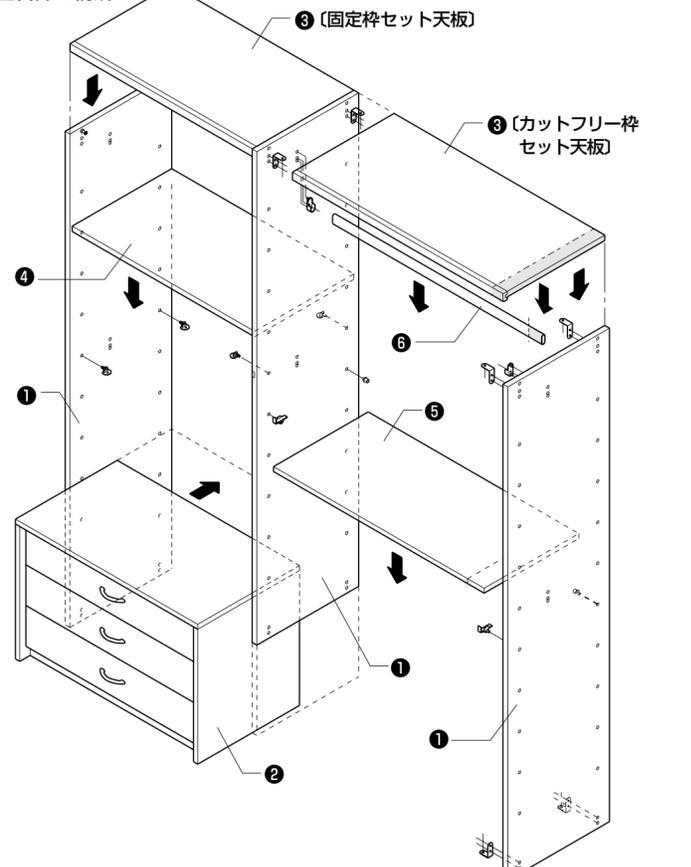
■各部材の説明(詳細は組立て・取付け順序参照)

- 側板**
●側板ユニットは、小壁を設けないクローゼットの枠側に設置し、固定枠セットと組み合わせます。
●側板には上下があります。木口の化粧面を上と手前に向けて設置します。
- 引出し**
●引出しは完成品出荷です。引出し内部のガイド穴から、側板にねじ止めします。
- 天板**
【固定枠セット天板】
●組立て用ノックダウン金具付きです。側板に、天板用ノックダウン金具をねじ込み、天板のノックダウン金具に差し込んで固定します。
【カットフリー枠セット天板】
●最大で片側135mm、両側で270mm切断できます。
●側板と、L金具で固定します。
- 固定棚**
●組立て用部品付きです。側板に、棚ジョイントをねじ止めして、固定棚を取り付けます。
- 可動棚**
●側板に棚ダボを取り付け、棚板をのせます。
●カットフリー枠セットに使用する場合は、間口に合わせて切断します。
- ハンガーパイプ**
●側板にパイプソケットをねじ止めし、ハンガーパイプを取り付けます。
●カットフリー枠セットに使用する場合は、間口に合わせてハンガーパイプを切断します。

■側板と天板の固定用部品取付けパターン



■各部の構成



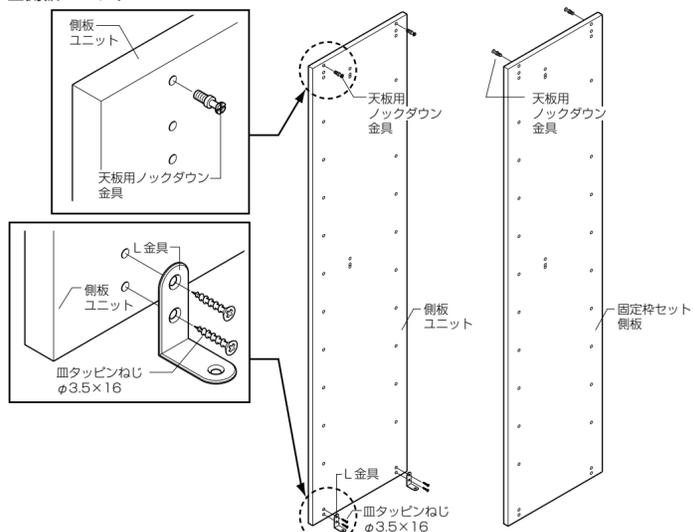
組立て・取付け順序

＜固定ユニット＞

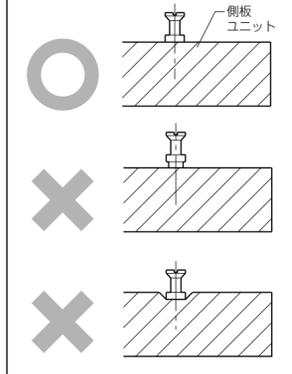
1 天板と側板の組立て

- 金具を取り付けます。
〔側板ユニット〕
●上部に天板用ノックダウン金具、下部にL金具を取り付けます。
(固定枠セットと同梱)
〔固定枠セット側板〕
●側板ユニットと向き合う側の上部に、天板用ノックダウン金具を取り付けます。
※引出し・寝具収納棚を設置する枠セットの内側下部にはL金具は取り付け不要です。
※天板用ノックダウン金具は正しくねじ込んでください。ねじ込みが浅い、あるいは深い場合、天板が固定できなくなります。
- 天板のノックダウン金具に、側板の天板用ノックダウン金具を差し込み、ねじを150°~180°回して締め付けます。

■側板ユニット

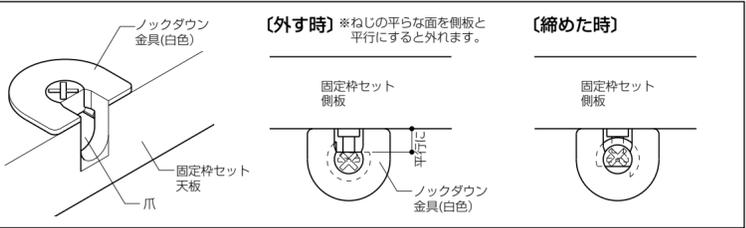


■天板用ノックダウン金具の取付け方



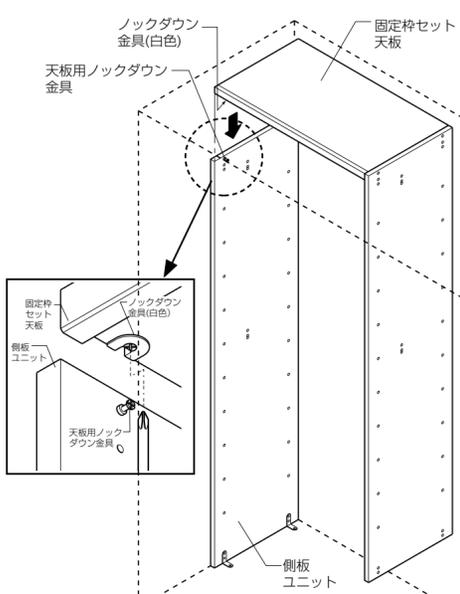
■ノックダウン金具の取扱い方

※よく締まらない時は、回転部の爪を正しい状態に直して締め付けてください。
(回転部の爪が出ていると天板用ノックダウン金具が入りません。)



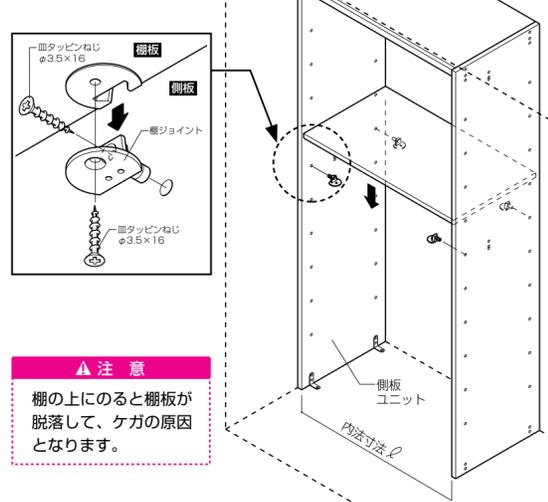
3 側板ユニットを設置場所に立てかけます。

組み立てた固定枠セット天板のノックダウン金具に、側板ユニットの天板用ノックダウン金具を差し込み、ねじを回して締め付けます。



2 固定棚の取付け

- 棚ジョイント(固定枠セットと同梱)を側板の任意の穴に差し込んでねじ止めします。
※手回しドライバー又はトルクを落とした電動ドライバーでゆっくりと締め付けてください。
- 棚板を棚ジョイントの上から落とし込み、下からねじ止めします。



▲注意
棚の上ののると棚板が脱落して、ケガの原因となります。

3 床への固定

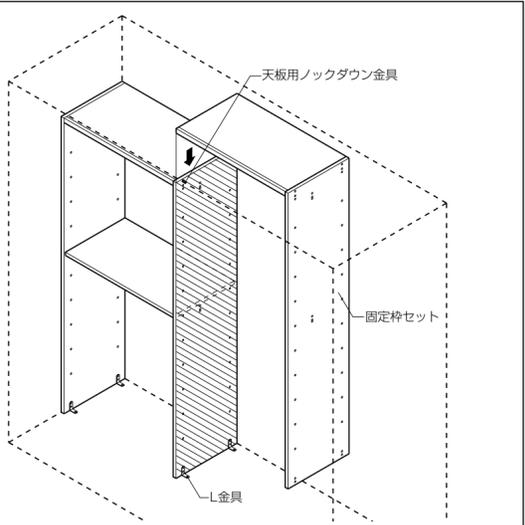
- 縦・横部材の水平・垂直を確認し、側板下部の内法寸法 ℓ を測定して正確に位置出しをしてから、L金具を床にねじ止めします。(右表参照)
- ※この固定枠セットが、設置の基準となるため、正確に位置出しをしてください。

■内法寸法表

呼称	内法寸法 ℓ
W455	435
W790	770
W910	890
W1245	1225

■固定枠セットの隣に固定枠セットがくる場合

- 斜線部の側板上部に天板用ノックダウン金具、下部にL金具を取り付けます。
- 固定枠セットを組み立て、天板を連結します。
※ 1-2 以降を参照



＜フリーユニット＞

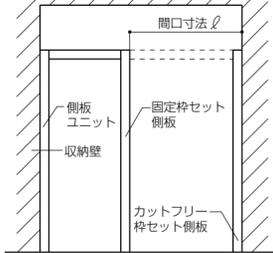
1 L金具の取付け

- 〔固定枠セット側板〕
●上下4か所にL金具を取り付けます。
(カットフリー枠と同梱)
- 〔カットフリー枠セット側板〕
●固定枠セットと向き合う側の上下4か所にL金具を取り付けます。

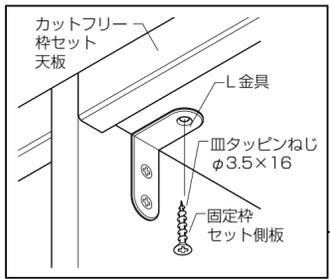
2 天板の切断と取付け

- 間口寸法 ℓ を測定し、天板を切断します。
天板寸法は(間口寸法 ℓ -20)mmです。
※天板の切断可能最大寸法は、片側135mm、両側で270mmです。

〔正面図〕



- 取り付けしたL金具の上に天板をのせ、下からねじ止めします。



3 床への固定

- 縦・横部材の水平・垂直を確認し、側板下部のL金具を床にねじ止めします。
- ※水平・垂直は正確に出してください。ハンガーパイプ・可動棚のはずれの原因となります。

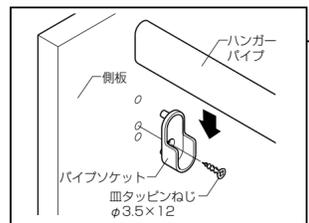
▲注意

各部分の水平・垂直が正確に出ていないと、可動棚・ハンガーパイプが脱落してケガの原因となります。

■各パーツの取付け

■ハンガーパイプ

- 側板の穴にパイプソケットを差し込み、ねじ止めします。
- パイプソケットにハンガーパイプを差し込みます。



〔カットフリー枠セットに使用する場合〕

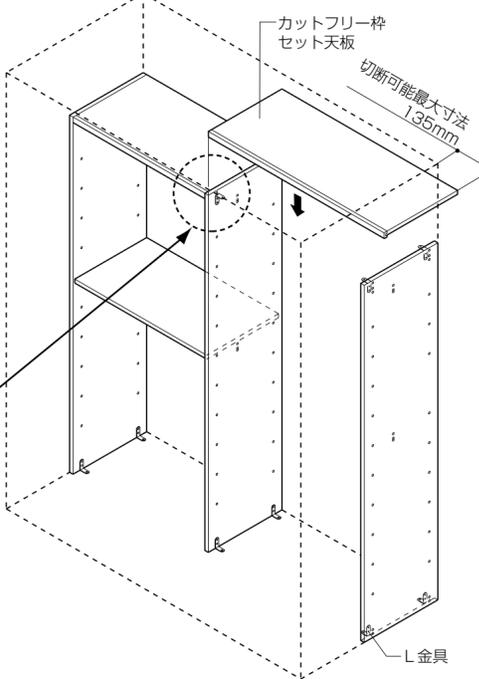
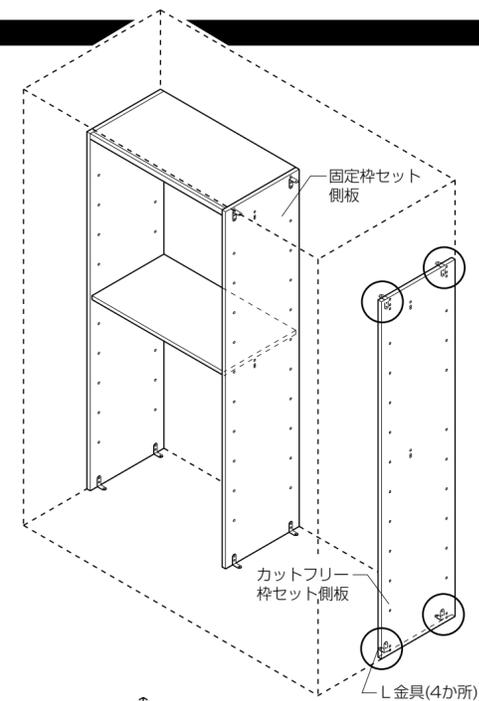
- 内法寸法 ℓ を測定し、ハンガーパイプを切断します。
ハンガーパイプ寸法は(内法寸法 ℓ -7)mmです。
※正確に切断してください。ハンガーパイプのはずれの原因となります。

■可動棚

- 側板の任意の穴に、棚ダボを差し込み、棚板をのせます。
※棚ダボ(前)には左右がありますのでご注意ください。

〔カットフリー枠セットに使用する場合〕

- 内法寸法 ℓ を測定し、棚板を切断します。
棚板寸法は(内法寸法 ℓ -2)mmです。
※正確に切断してください。棚板のはずれの原因となります。



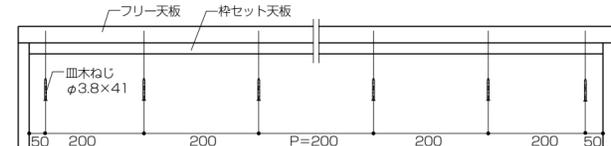
■フリー天板

※間口の広いプランや、天板に最大荷重を超える物をのせる事が予想される場合に使用してください。

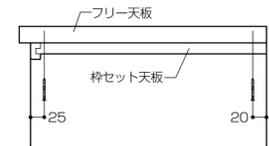
- フリー天板を、内部収納の間口に合わせて切断します。
- 枠セット天板より、同梱のねじで固定します。
※ねじピッチは200mm以内になしてください。



〔正面図〕



〔側面図〕



内部収納FA(引出し・寝具収納棚)

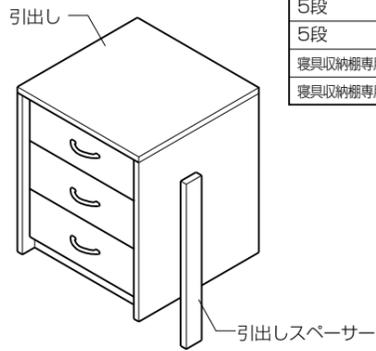
組立て・取付け説明書

■お願い

- 商品の表面材には、プリント紙を使用しています。汚れた手袋等で触れたり、傷を付けたりしないよう、運搬・施工時には、十分ご注意ください。
- 表面の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。シンナー・ベンジン等の溶剤は、絶対に使用しないでください。
- 施工前には、必ず取付けスペース・床強度等を確認してください。
- この説明書は、施工後必ずお施主様にお渡しください。

■部品・部材一覧表

■引出し

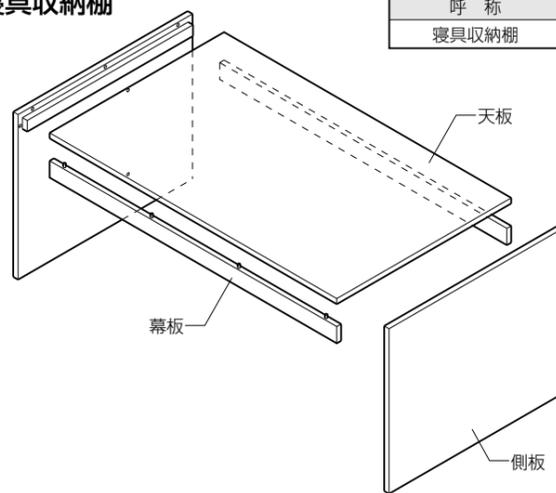


呼称	商品コード	備考
3段 W455	NKHZ301	引出しスペーサー付き
3段 W790	NKHZ302	
5段 W455	NKHZ311	引出しスペーサー付き
5段 W790	NKHZ312	
寝具収納棚専用 W435	NKHZ304	取付け説明書なし
寝具収納棚専用 W750	NKHZ305	取付け説明書なし

■同梱部品

皿木ねじ	取付け説明書
2 φ3.8×28	1

■寝具収納棚



呼称	商品コード	備考
寝具収納棚	NKHZ024	天板 1枚、側板・幕板 各2枚

■同梱部品

皿木ねじ	皿木ねじ
4 φ3.8×28	10 φ3.8×57
接着剤	取付け説明書
1	1

■取付け順序

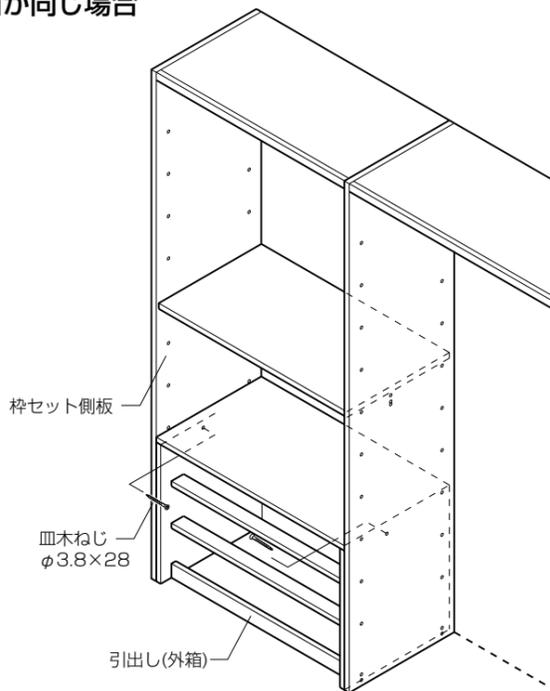
■引出し

- ※引出しは完成品出荷です。
- 枠セットに引出し(外箱)を入れ、内部のガイド穴から、同梱のねじで側板に固定します。

■枠セットと引出しの間口が同じ場合

例 (W455固定枠セット
+
W455引出し
W790固定枠セット
+
W790引出し)

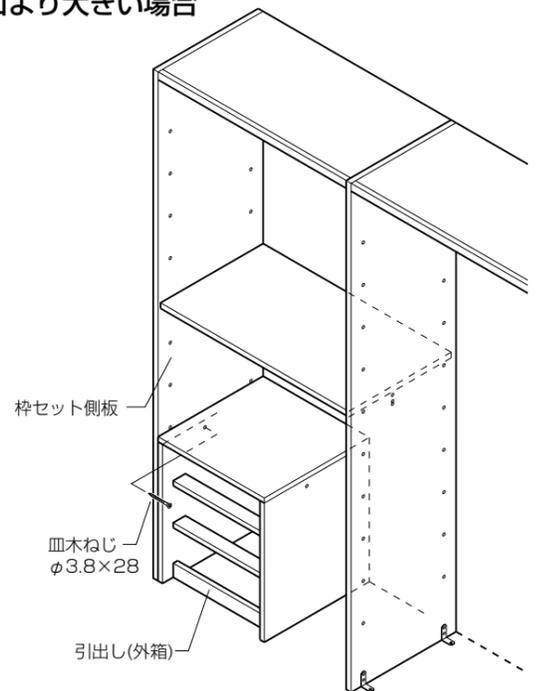
※引出しを設置する枠セットの側板下部には、L金具は取付け不要です。



■枠セット間口が、引出し間口より大きい場合

例 (W790固定枠セット
+
W455引出し
W910固定枠セット
+
W790引出し
カットフリー枠セット
+
引出し)

- ① どちらかの側板に引出し(外箱)を寄せてねじ止めします。
※クローゼット扉が、ピボット・開き戸タイプの場合は、扉をよけて取り付けてください。
- ② 引出し(外箱)をねじ止めしない方の側板に、L金具を取り付けます。



■W910固定枠セットにW455引出しが2体納まる場合

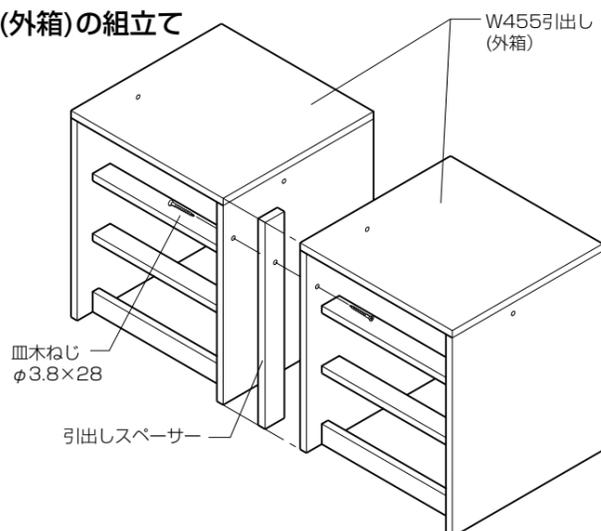
1 引出し(外箱)の組立て

- ① 2体の引出し(外箱)の間に引出しスペーサーを入れ、前面を合わせて任意の位置にねじ止めします。
- ※ねじ止め位置は、スライドレールをよけてください。

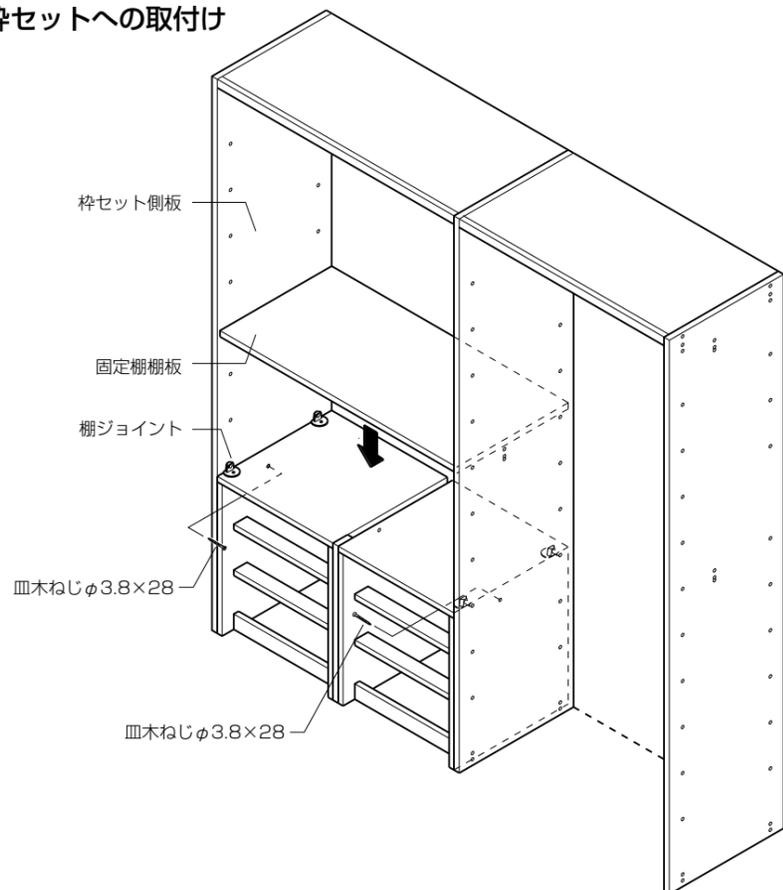
2 枠セットへの取付け

- ① 枠セットに引出し(外箱)を入れて、ねじ止めします。
 - ② すぐ上の穴に棚ジョイントを取り付け、固定棚棚板をはめ込みます。(棚板のねじ止めは不要です。)
- ※引出しを設置する枠セットの側板下部にはL金具は取付け不要です。

1 引出し(外箱)の組立て



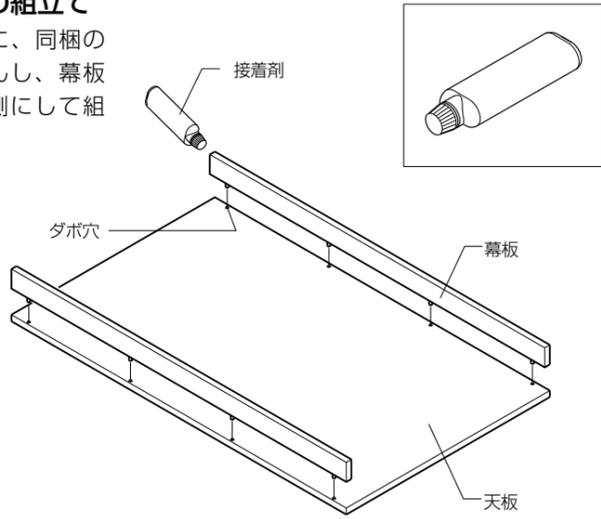
2 枠セットへの取付け



■寝具収納棚

1 天板と幕板の組立て

- ① 天板のダボ穴に、同梱の接着剤を充てんし、幕板の化粧面を表側にして組み立てます。



2 側板との組立て

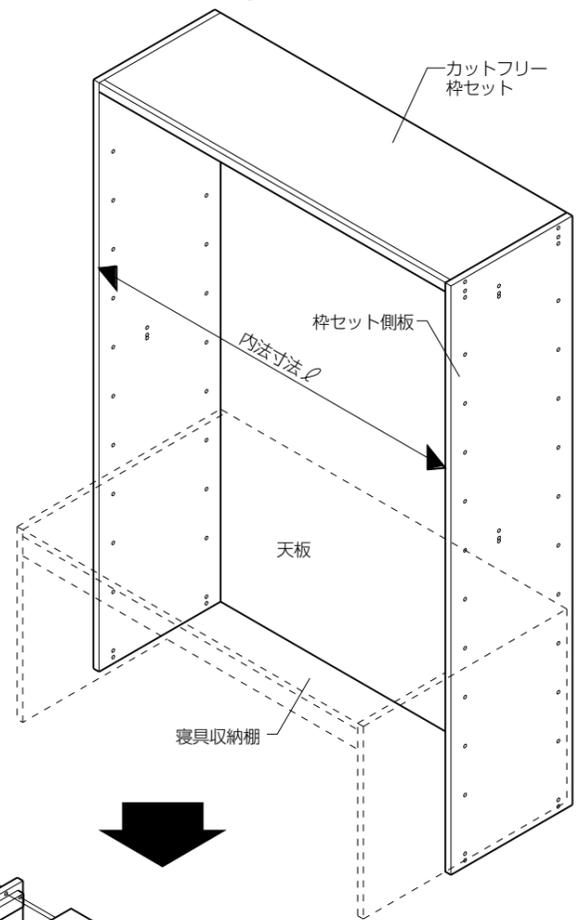
〔カットフリー枠セットに設置する場合〕

- ① 寝具収納棚を設置する枠の内法寸法 ℓ を測定し、天板を切断します。天板寸法は(内法寸法 ℓ -40)mmです。
- ② 側板の外側から、同梱のねじで固定します。
 ※必ず幕板を組み立てた後に切断してください。
 ※天板の切断可能最大寸法は、片側135mm、両側で270mmです。
 ※天板は正確に切断してください。カットフリー枠セット側板の垂直が出せなくなります。

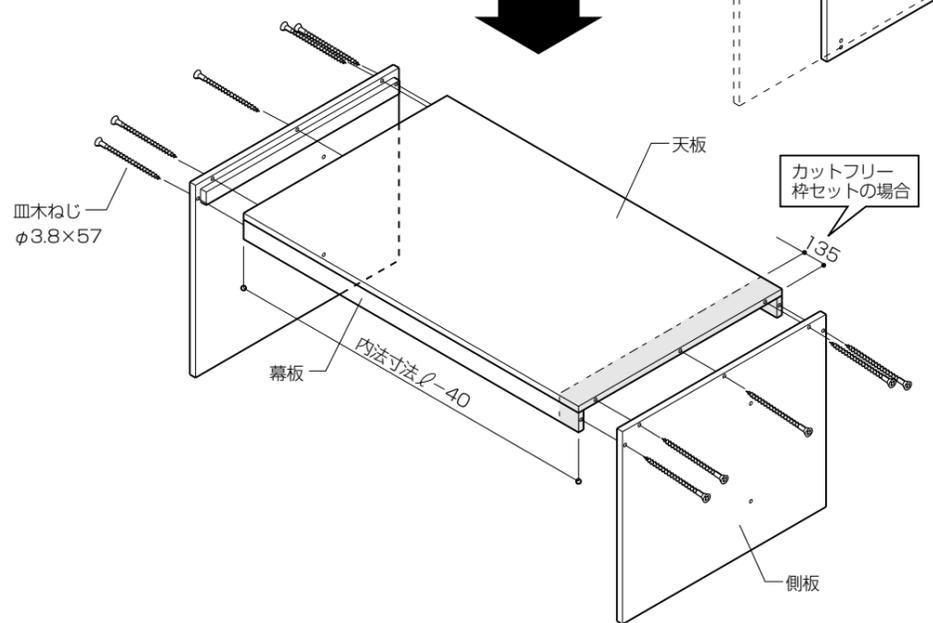
〔固定枠セットに設置する場合〕

- ※天板の切断は不要です。
 ●側板の外側から、同梱のねじで固定します。

① 内法寸法 ℓ の測定

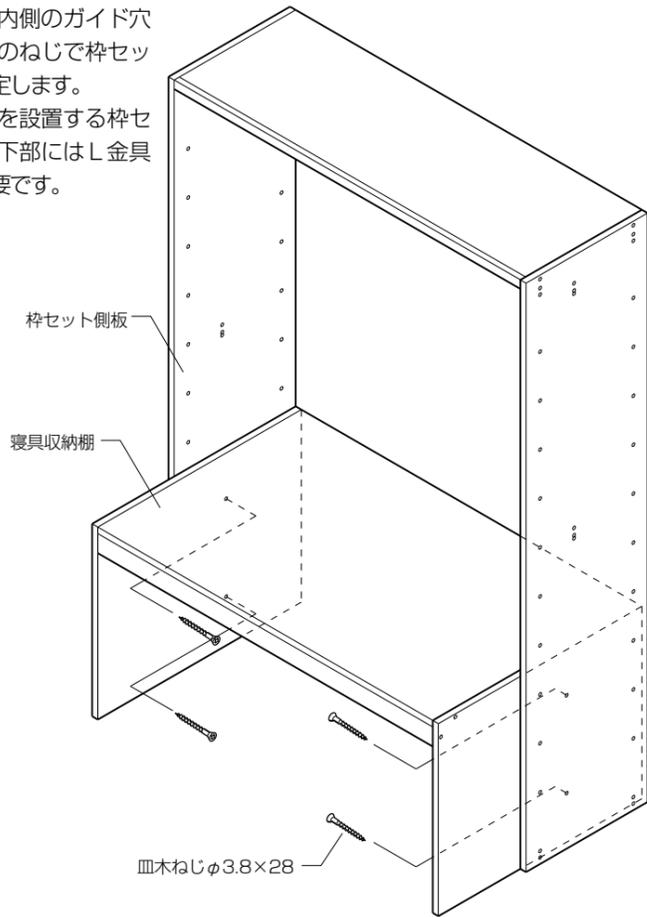


② 寝具収納棚の組立て



3 寝具収納棚の取付け

- ① 寝具収納棚内側のガイド穴より、同梱のねじで枠セット側板に固定します。
 ※寝具収納棚を設置する枠セットの側板下部にはL金具は取付け不要です。

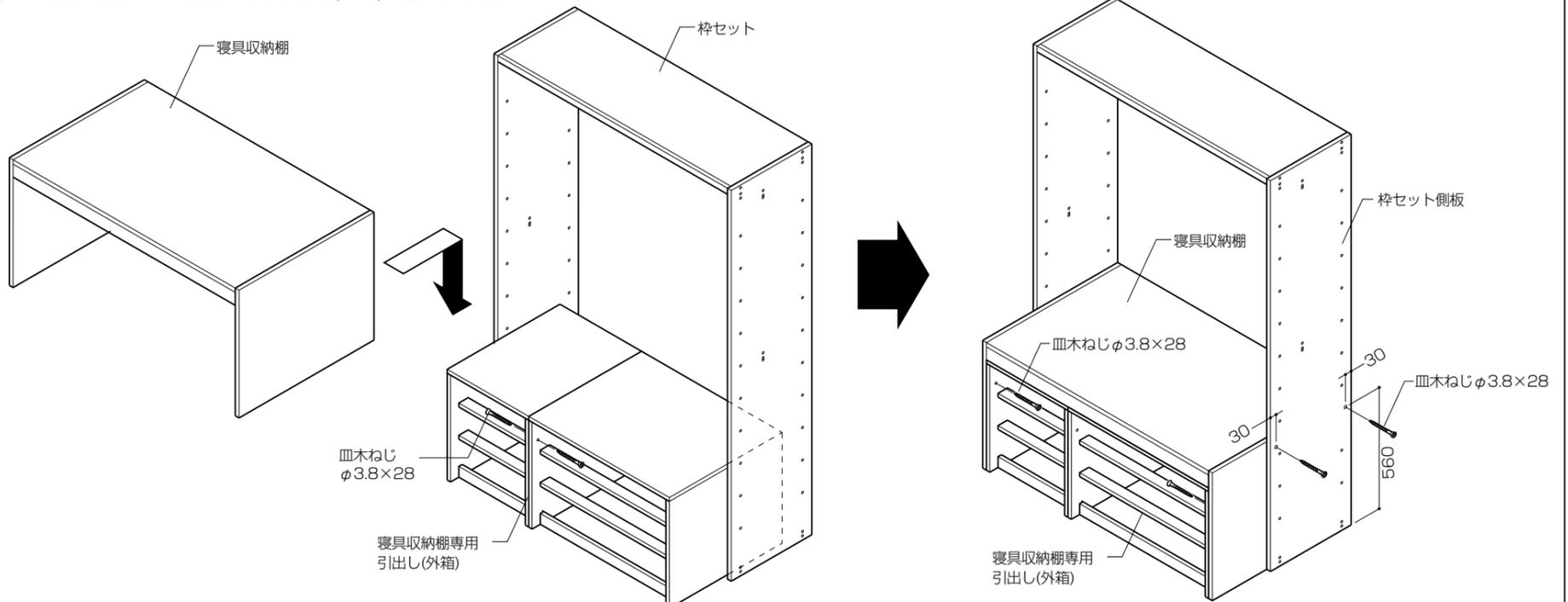


■寝具収納棚専用引出しを使用する場合

〔専用引出しW435とW750を並べて設置する場合(固定枠セット専用)〕

- ① 枠セットの中に専用引出し(外箱)を並べ、内側から同梱のねじで連結します。
 ※ねじ止め位置は、スライドレールをよけてください。
- ② 組み立てた寝具収納棚を、専用引出し(外箱)の上にかぶせます。

- ③ 両天板の前面を合わせ、内側のガイド穴から同梱のねじで固定します。
 ④ 寝具収納棚を、同梱のねじで枠セット側板の外側より固定します。



■専用引出しを1体だけ設置する場合

※引出し(枠セット間口が、引出し間口より大きい場合)を参照してください。